

超越

生徒会新聞
第 17 号
令和 4年 12月 21日
担当者： 薮花 萌

○1年間を終えて生徒会執行部より

本号で約1年間続いた生徒会新聞「超越」も最終号となりました。今年の生徒会ビジョンは「基本を大切にし、その先に発展する世羅西中」でした。生徒全員が日常生活を大切にし、当たり前前のことを当たり前前に、全員が細かいところまで手を抜かず、やり切ることを目指しました。そして、1年後には、全員が今より「発展」している姿を目指しました。リーダーとして活動していく中で、失敗したこともたくさんありましたが、ここまで私たちがやってこれたのは、1、2年生がどんなときでもついてきてくれたからです。

これからは、41期生徒会執行部の活動が始まっていきます。来年度は今よりももっと良い世羅西中学校を目指して、取り組んでください。これまで生徒会活動へのご協力ありがとうございました。

☆薮花 萌 (会長)

私は、生徒会活動を通して「感謝」と「日常生活」の大切さを学びました。このことを大切にすることで行事や学校外でも当たり前前にすることができま。これからの、学校生活でも大切にしてください。1年間ありがとうございました。

☆原田 拓 (副会長)

私は、生徒会活動を通して、「当事者意識」を持つことの大切さを学びました。「誰かがやってくれるだろう」という考えでいると、自分の成長にも繋がりません。他人事ではなく、自分事として真摯に取り組むことの大切さを学びました。1年間ありがとうございました。

☆森本くるみ (書記)

私は、生徒会活動を通して、場の「雰囲気」を作ることが大切だと学びました。穏やかで話しやすい雰囲気、緊張感のある雰囲気等、メリハリをつけることも必要でした。1年間ありがとうございました。

☆上田 陽由 (書記)

私は、生徒会活動を通して「集中」することが大切だと学びました。短い時間で意見をまとめたり、準備を終えるためには集中して取り組む必要がありました。1年間ありがとうございました。

☆前大道 涉 (会計)

私は、生徒会活動を通して「事前の準備」が大切だと学びました。どの行事でも事前に準備をしていないと当日になって焦ってしまい、スムーズに行うことができません。みなさんも準備を大切にしていきましょう。1年間ありがとうございました。

☆年宗 芽衣 (会計)

私は、生徒会活動を通して、「計画性」を持って活動をする大切さを学びました。連携や役割の確認を前々からしておく本番でスムーズに進みます。1年間ありがとうございました。

☆小迫 太一 (生活委員長)

私は、1年間で「主体的に動く」ことを学びました。まずは自分が行動していかないとみんなついてきません。みんなが主体的に動いて良い学校にしていってください。1年間ありがとうございました。

☆梶川 日向 (保健・美化委員長)

私は、委員長を通して「連携」を取る大切さを学びました。委員会をするにあたって事前に先生と話し合いをしてスムーズにできるようにしました。1年間ありがとうございました。

☆佐々木 真央 (図書・広報委員長)

私は、図書・広報委員長として「責任」を持って取り組むことの大切さを学びました。委員長として責任を持った行動をすることで、信頼を得ることができ良好な人間関係を築く事ができたと感じています。1年間ありがとうございました。